

交野古文化同好会

考古・歴史・民俗の頭文字を取って考歴民（これみ）と名付けました。

### 旧石器時代と交野

アフリカで誕生した人類は、10 万年ほど前に現在の人類の直接の祖先にあたる新人へと進化し、世界中に広がった。この過程で、日本における人類の生活も開始された。この過程で、日本における人類の生活も開始された。打製石器のみを用いた旧石器時代のことである。長い間、日本の歴史は浅く、人が住むようになったのは縄文時代からで、旧石器時代は存在しなかったと思われていた。しかし、1947 年に群馬県で行商をしながらか考古学を研究していた相沢忠洋<sup>あいざわただひろ</sup>という青年が岩宿<sup>いわじゅく</sup>の関東ローム層<sup>こくようせき</sup>の中に黒曜石の破片を発見し、発掘調査が始められ、これによって日本考古学は大きく変えられたのである。これが有名な「岩宿の発見」である。



岩宿遺跡出土の石器

前号で紹介させていただいた人物、交野古事記<sup>かたのこじき</sup>の立役者自称「交野阿礼」<sup>かたのあれい</sup>コト考歴民<sup>これみ</sup>のオッサン(A)と隣のなんでやオジサン(仮称Q)とのやり取りで進めてまいります。

### 交野台地の旧石器時代

Q:交野台地と言うてるけど範囲は

A: 現在の交野市の行政区域をはみだした旧北河内の台地(北は男山から南は四条巖岡山まで)の自然的にまとまった台地形で、昔はこの一帯をばくぜん<sup>ばくぜん</sup>と総称して交野ヶ原<sup>まじのがはら</sup>といった。

Q:このような広範囲な地域をとりいれたわけは

A:太古人の発展がそうしたひとかたまり、自然地形によったからである。

Q:日本人の祖先が、いつ頃から住みだしたのか

A:その頃のことは見てないし、知らないし、けど

日本では 10 万年前とされる地層から旧石器がみつかり、これを最古の生活痕跡とする説もあると歴史書に書いてあった。但しいろんな説もあると。

Q:どこからやって来たのか

A:現日本人は大陸と地続きであった氷河時代に朝鮮半島や中国大陸などから、日本列島に移りすんでいたマンモスゾウ、オオツノジカなどの大型動物を追いかけてやって来たと考えられる。

Q:神宮寺遺跡の旧石器文化もそうでっか

A:たんにこれだけが氷河時代に発生したのではなく、この自然的な人類文化発展途上の一点に位置するものである(これは偉い先生の説ですわ)。

Q 旧石器時代の前は先土器時代<sup>せんどきじだい</sup>っていったが、どんな時代でっか

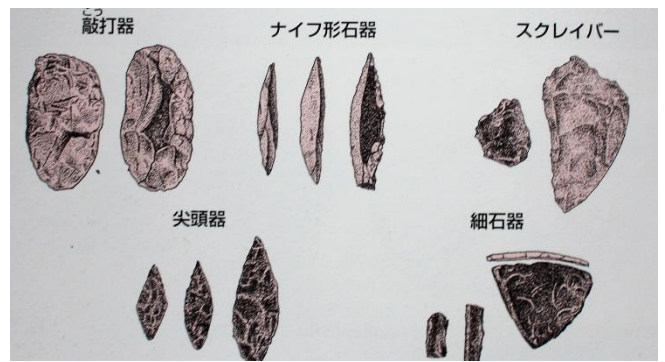
A:この時代は別名「無土器時代<sup>むどき</sup>」つまりまだ土器がなかった時代のことである。最近、当時の石器の作り方から「旧石器時代」と呼んでいるらしい。

Q:旧石器とは

A:石を打ち欠いて形を整えて作った打製石器<sup>だせいせっき</sup>のことである。

Q:この頃から交野山麓に移り住んでいたのか

A:握槌<sup>にぎりつち</sup>(ハンドアックス)を持った旧石器文化がはじまる(昭和31年交野考古学会の発掘調査による)



旧石器時代の石器

それは、岩宿の石器発見から 9 年後、交野では交野考古学会がこの年の秋、神宮寺集落の東南「南町宮跡」<sup>みなみちようみやあと</sup>付近(標高 100 ㍎)のミカン畑で 3 点の石器が採集された。



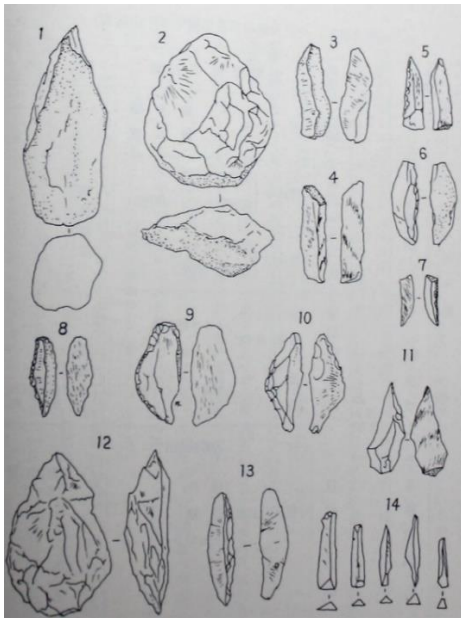
神宮寺遺跡から出土石器

左:中:尖頭器 右:ナイフ型石器

遺跡には「神宮寺先縄文時代遺跡」と刻んだ石標が建てられ、交野旧石器時代の研究の礎<sup>いしづえ</sup>となつて欲しい(交野丘陵上各地調査による)



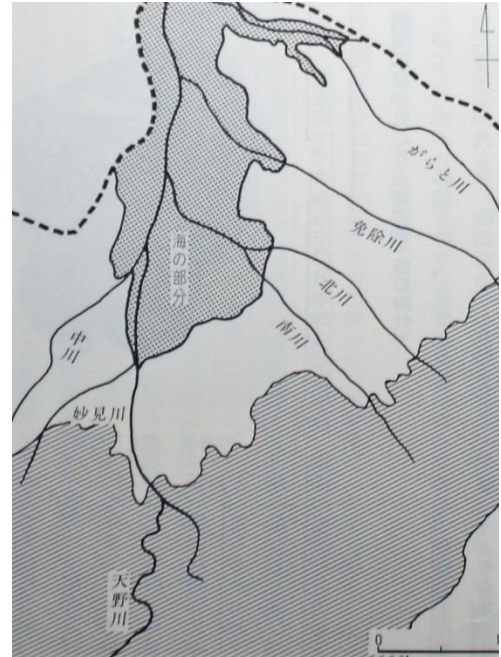
神宮寺先縄文時代遺跡の石標



交野台地の旧石器

- 1.チヨピングツール 2.握槌 3. 刃器様剥片(四条畷市岡山更良川床)
- 4.刃器様剥片(寝屋川市打上)5.ナイフ的刃器(高宮)
6. ナイフ的刃器(四条畷市)7.ナイフ型石器(枚方市藤

- 阪)8.9.ナイフ型石器(枚方市津田三ツ池)
- 10.国府型翼状ナイフ 11. 尖頭器(岡山更良川床)
12. 尖頭器 13. 国府型翼状(交野市神宮寺)
- 14.細石器(岡山更良川床)



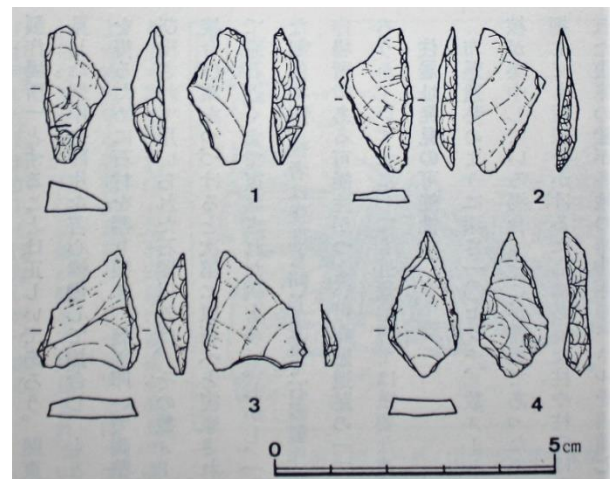
旧石器時代の海岸線(7~10 万年前)

Q:神宮寺遺跡につづく遺跡の発見はあったのか

A:昭和 53 年、開発に伴い発掘調査時に約 130 点の旧石器が発見されたのである。

Q:その遺跡名は

A:布懸遺跡(交野市星田 4-3307 の 1) JR学研都市線星田駅の南、星田山地から西北に派生した尾根である(標高 50 ㍎)。



布懸遺跡より出土遺物実測図

Q:布懸遺跡のあらましを教えてください

A:教えてくださいと違うんか(笑)

Q:たいした答えがもらえんからなあ

A:それもそうや「知ってる」「知らん」はハッキリ  
と言わんとなあ～

Q:神宮寺遺跡は標高 100 ㍎だがこの遺跡は 50 ㍎、何  
にか違いに変化があるのか、あるのですか

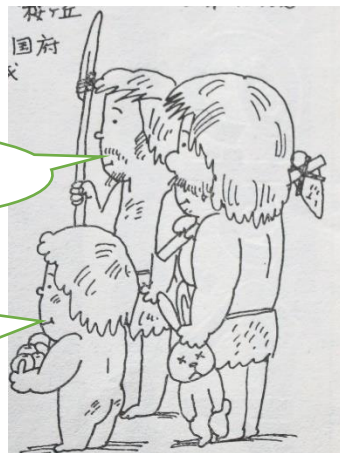
A:いい質問やなあ、あんたも交野阿礼かたのあれいの一員なれまっ  
せ！その違いは神宮寺遺跡の台地は最奥、急斜面  
の尾根を背景とし水を求める立地とは異なるが、  
新しい遺跡は台地の奥から先端へと生活の場を移  
すといった、時代の違いを示しているのではない  
か

Q:その頃の遺跡は、どんな違いが

A:神宮寺遺跡では、出土石器の説明はあるが生活の痕  
跡(遺構)などが無いのでわからない。一方布  
懸遺跡は出土遺物から石器の製作地(ナイフ形)で  
あった可能性が高いとのこと。

Q:どのような暮らし、家族の単位は、移住生活をしてい  
たのか

A:まだ、人に聞く態度ではないぞ(怒)  
俺も分からん、あんたの想像力にまかす。  
今日はここまで



我々の祖先が暮らしていた交野山の麓。  
この挿絵から思い浮かべることができるでしょうか？  
スーパーもコンビニも電車も道路も車も何も無い時で

も！俺たちは生活をしてたぞ！  
現代人は何不足なしに生活している今。  
努力・工夫・足ることを知り、感謝の気持ちで日々を暮ら  
していこうではありませんか…。

思い浮かべて民(み)、そして語りましょう。

こんなことがあった



松塚から出土の「貝」

昭和 60 年 9 月、マンション建設中に出土。  
この貝は「まがき」「なみまかしわ」という塩水の中に育  
つ貝で、今から 5 万年から 7 万年くらいの昔、松塚の地  
下-33 ㍎から出土した。

京阪郡津駅前は海の吹き溜まりのようなところであっ  
たことがわかった。

当時、松塚地区の区長、井上富貴子氏(古文化同好会  
員)から奥野平次氏に建設現場から貝が出たとの報告  
があり、専門家に鑑定してもらった結果判明した。  
多くの会員の目が開発途上の交野を見守っていた。



2020 東京五輪開幕

新型コロナウイルスの影響で史上初の 1 年延期となった第  
32 回夏季五輪東京大会、コロナ厳戒下のなか 57 年ぶりに  
開催した。

よみうり新聞より

次号 8/9